

2022年10月28日

原料費調整に基づくガス料金の調整について (2022年12月検針分)

当社では、本日確定した2022年7月から2022年9月の平均原料価格に基づき、2022年12月検針分のガス料金(単位料金)を、2022年11月検針分に比べ1m³あたり8.59円上方に調整させていただくことになりましたので、お知らせいたします。これにより、モデル家庭(1ヶ月あたり27m³ご使用)への影響は、2022年11月検針分と比較して、232円の引き上げとなります。

○供給約款料金表^{※1}

	使用量区分	基本料金	単位料金		影響額
			2022年12月	2022年11月	
料金表A	0 m ³ から15 m ³ まで	946.00 円	253.63 円/m ³	245.04 円/m ³	+8.59 円/m ³
料金表B	15 m ³ を超え50 m ³ まで	1,454.20 円	219.75 円/m ³	211.16 円/m ³	
料金表C	50 m ³ を超え200 m ³ まで	2,013.00 円	208.57 円/m ³	199.98 円/m ³	
料金表D	200 m ³ を超え800 m ³ まで	7,700.00 円	180.14 円/m ³	171.55 円/m ³	
料金表E	800 m ³ を超える場合	9,900.00 円	177.39 円/m ³	168.80 円/m ³	

(金額は税込み)

※1：各月のご使用量に応じて、A～Eの各料金が適用されます。

○モデル家庭[※]における影響額

1ヶ月の ガスご使用量	2022年12月の単位料金 によるガス料金	2022年11月の単位料金 によるガス料金	影響額
27 m ³	7,387 円	7,155 円	+232 円

(金額は税込み)

※：モデル家庭とは、厨房および給湯にガスをお使いいただいているお客さまで、月間のご使用量を27m³で設定しています。

以上

<参考資料>

1. 平均原料価格について

<平均原料価格の算出式>

$$\begin{aligned} \text{平均原料価格} &= \left(\frac{142,800 \text{ 円/トン}}{\text{LNG 平均価格}} \times 0.9503 \right) + \left(\frac{101,130 \text{ 円/トン}}{\text{プロパン平均価格}} \times 0.0546 \right) \\ &= \underline{141,220 \text{ 円/トン}} \quad (\text{10 円未満の端数を四捨五入}) \end{aligned}$$

■原料価格の動向

	2022年7月～2022年9月 <2022年12月分ガス料金に反映>	2022年6月～2022年8月 <2022年11月分ガス料金に反映>	基準平均原料価格
平均原料価格	141,220 円/トン	122,560 円/トン	66,310 円/トン
LNG平均価格	142,800 円/トン	123,030 円/トン	
プロパン平均価格	101,130 円/トン	103,330 円/トン	

平均原料価格が現行の上限値(106,090 円/トン)を超えたため、2023年3月までの軽減措置により、超えた額の50%を以下の算定式で平均原料価格に反映いたします。

$$\begin{aligned} & (141,220 \text{ 円/トン} - 106,090 \text{ 円/トン}) \div 2 = 17,565 \text{ 円/トン} \\ & 106,090 \text{ 円/トン} + 17,565 \text{ 円/トン} = \underline{123,650 \text{ 円/トン}} \quad (\text{10 円未満の端数切り捨て}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \frac{123,650 \text{ 円/トン}}{\text{料金算定に反映する平均原料価格}} - \frac{66,310 \text{ 円/トン}}{\text{基準平均原料価格}} \\ &= \underline{57,300 \text{ 円/トン}} \quad (\text{100 円未満の端数切り捨て}) \end{aligned}$$

2. 単位料金の調整について

<単位料金の算出式>

$$\begin{aligned} \text{単位料金} &= \text{基準単位料金} + \text{単位料金調整額} \\ \text{単位料金調整額} &= 0.084^{(\ast 1)} \times \frac{57,300 \text{ 円/トン}}{\text{原料価格変動額}} \div 100 \text{ 円/トン} \times (1 + \text{消費税率}) \\ &= \underline{52.94 \text{ 円/m}^3} \quad (\text{小数点第3位以下の端数切り捨て}) \end{aligned}$$

	基準単位料金	単位料金調整額	2022年12月の単位料金(税込)
料金表A	200.69 円/m ³	52.94 円/m ³	253.63 円/m ³
料金表B	166.81 円/m ³		219.75 円/m ³
料金表C	155.63 円/m ³		208.57 円/m ³
料金表D	127.20 円/m ³		180.14 円/m ³
料金表E	124.45 円/m ³		177.39 円/m ³

※1 原料価格変動額 100 円/トンにつき、1 m³あたり 0.084 円調整します。

【原料費調整の概要】

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(1 m³あたりの単価)を調整します。
- 供給約款に定める「基準平均原料価格」と「平均原料価格(適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月間におけるLNGおよびプロパンの輸入価格より算定)」を比較して単位料金を見直します。原料価格変動額 100 円につき、単位料金を 1 m³あたり 0.084 円調整します。
- 2022年10月検針分～2023年3月検針分までは、平均原料価格が現行の上限額を超えた場合、超えた額の50%を毎月のガス料金の算定に反映します(軽減措置)。

$$\text{ガス料金} = \text{基本料金} + \text{単位料金} \times \text{ガスご使用}$$

↑
原料価格の変動により毎月調整します

以上